

磐城日報 発行所 磐城日報社 電話(一) 九三〇 電話(二) 九三〇 印刷 印刷人 丸山 印刷所 丸山印刷所 毎週水曜日休刊 毎週月曜日から日曜日まで 一月三十四日 一月三十四日

呼吸器科 小児科 平古カヂ町 (縣社下) 後藤醫院 電話1036

# 一萬七千石の減収か 冠水、病虫害が大半

## 郡下の稲作状況

郡下稲作状況について石城 三十五反その他百八反 地方事務所では過日より各 町村方に係員を派遣、調 査にあつたが、この ほどまとまつたところによ り、次のような、收穫皆無 面積は約三百二十二反七百二 十七石に及び割當に對する 作況率は九十一、八パーセ ントで、良好 全般的減収石數(割當に 對する)は一万七千二百 五十石にのぼり、減収原 因及び反別は水害七十四 反、病害七十二反、煙草害

# 中毒は九月がマ

## 患者七十、死亡一をだす

平保健所管内八月以降の中 毒事件は六日現在で九件に 達し患者七十名、死亡者一 名を出しているが原因はタ ンニン中毒によるもの二件十五 名、カニ中毒一けん、十七名、年 三十三名が集り會食をし てその最高を示し、川エビの 結果、殆んど全員が輕症 十名(死亡一名)、コロッケ 十名、納豆六名、鯨肉六名、日 間同症状を持続したのはサザ ン粉一五名、メリケン粉一五 名、市町村別には平市三ヶ

# 火災件数は減少

## 火遊び、取灰が主因

来る八日から全国一齊に防 火運動週間が展開される。 二十二年損がい九千八百八 十が平消防署の發表した本 年八月までの火災状況、一 月以降八月までの火災状況 況をみると、平二十六件、 二月一けん、三月一けん、 四月一けん、五月一けん、 六月一けん、七月一けん、 八月一けん、九月一けん、 十月一けん損がい 原因は依然として子供の火 遊び、かまど、取灰の不始 末がその大部分を占めてい る。自然発火、シヨット、 非住家三十八(戸數全焼四)

# 保護 者も 共色別競技

## 盲啞學校で七日運動會

縣立平盲啞學校では七日午 前八時から同校グラウンドで 運動會を開くが盲啞生徒の 隱して赤白の大豆をアチ

# 文化講座

市內六ヶ所 平市役所主催の市文化講座 は次の日程で實施する。 △十月十八日(一)小○道徳 教育(一)小校長黒田吉之助 △二十一日(二)小○道徳 教育(二)小校長菅波國倫純潔 教育(三)小校長新芳美 △二十八日(三)小○道徳 教育(四)小校長河原鶴之助 △二十九日(四)小○道徳 教育(五)小校長西牧清富 △三十日(五)小○道徳 教育(六)小校長佐藤豊 △三十一日(六)小○道徳 教育(七)小校長江尻忠平

# 好問中で

八日運動會 好問村中學校では八日同校 の新設グラウンドで運動會を 開設する、同グラウンドは本 年一月から失業對策事業と して一日五十名が就労し現 在七分通り完成しているが 二百米の直線コースがとれ 倍半はある

# 皇太后さま

平に六分間御停車 宮城、岩手兩縣下サン糸狀

8日-14日 東京キッド館 夢の音楽、笑いの涼風、淡い哀愁 日本映画初のハワイ現地撮影 エノケン 川美空 大顔 高杉好子 坂二、アチャコ

土建請負業 丸石組 責任者 石山一治 平市材木町 電四五四

秋冬の服地 御婚禮用 衣裳一式 晴雨傘 今秋より一層技巧と 持ち味、新味、情味 東西名匠 競染 帯とよきもの 平四丁目 山吉 電268

皆様の家具の店 婚禮期が近づきました 陳列小賣部新設 タンス 鏡台 椅子 テーブル 自家製造販賣 御用命は電四六四番 伊東家具店 営業所 平市新川町 工場 平市大町29・30

# 品位炭 産出炭礦界に曙光

## 新燃焼設備發案による

五千カ級と同等の効率

常磐地區産出の低品位炭に各關係業者を招き、この新  
 によるボイラー操業について燃焼設備に依る操業を見學  
 種々と検討していた小名浜し、普及奨励することに  
 町日本水業工場ではこのほなつたが、従来低品位のた  
 ど炭焰逆流式燃焼設備の操業實行不振の常磐地區各  
 業により三千五百カローリ炭礦業界にはこの新設備に  
 級の石炭が従来の水管釜式より漸く明るい見通しを興  
 燃焼機による五千カローリと共によりボイラー使用の  
 級石炭の投入と同等な効率各メーカー連は低品位の石  
 をあげることを確認した炭購入による原價の節約を  
 で東北熱管理協會に報告し圖ることが出来るので各方  
 た、七日同協會では東北の面からの期待は大きい

# 跡を絶たぬ 密造酒

## 一般の協力を要望

税務署の再三の警  
 告と嚴重な監視の  
 網をめぐり密造酒  
 は依然横行してい  
 る、一方平税務署  
 に舞い込む投書に  
 數も甚だ多く中に  
 は隠匿場所まで記  
 入した地圖まで添  
 えてあるという御  
 親切な御方もある  
 が去月三十日勿來方面から  
 次の様な投書があつた  
 奴の酒は俺も二度三度買  
 つて飲んだこともある、  
 始の中は一升三百圓で  
 入れて五百圓で賣つてい  
 たがこの頃は金詰りのセ

に處すると共に一般の協力  
 方を要望している

●櫻つじの

名所有名な平市松  
 ケ丘公園南下の旅館「松  
 しま」は昭和十八年より  
 八年間、旅館業を営んで  
 いるが、華客へのサービ  
 泉館ス向上を期してこ  
 の程温泉を新設し  
 の松た、同温泉は總々  
 置なイル張りの浴室で  
 新設 形縣鶴岡温泉と同  
 様近代的なもので本縣で  
 は同旅館が唯一のもの  
 である、浴場は大衆用と  
 ダブル用の二つがあり採  
 光、換氣は満点で浴窓か  
 らは自然の風景に接す  
 ことが出来る、温泉気分  
 充分満喫出来る同所は四  
 季を通じ環境に恵まれ春  
 は櫻吹は紅葉と温泉情緒  
 に一段と興を添えている

## 二 (東) (西) ス

●秋の夜長となつた此の  
 頃、水戸市内の暗がり  
 若い娘さんがつぎつぎと  
 襲われている、九月八日  
 には銀行事務員の竹内某  
 女(20)十七日女教員井上  
 某女(22)二十五日店員間  
 宮テル子(19)二十七日理

髮師佐藤カツ子(21)の四  
 女が被害を蒙り届出でい  
 るが、四女とも異口同音  
 に二十四、五才の男が素  
 晴らしいスピードで自轉  
 車を飛ばしすれちがう際  
 に平手で顔めんとつよく  
 殴り通り魔のように自轉  
 車で逃げるといつてお  
 り、四女とも暴行を受け  
 るや昏倒してしまつたと  
 ころから市署では馬鹿力  
 のある痴漢の仕業と捜査  
 すると共に娘さんの一人  
 夜あるきは御用心といつ  
 ている

●福島縣鹿島町の佐藤善  
 治さんが去る三日常磐線  
 夜行列車内で窓ぐらに置  
 いた「新生」一個が一本も  
 吸わぬうちに紛失、サテ

## 金物 釜屋

●不思議なこともある  
 ものとフシンに思つた瞬  
 間、前の男がスまして座  
 席を離れた、サテはアノ  
 男かと同乗の公安官に注  
 進、デッキの上で御用に  
 なつたこの男は湯本町無  
 職、佐藤勇(20)で「イヤ  
 自分の煙草だと思つて間  
 違ひポケットに入れたん  
 だ」と主張「ゴマかすな  
 と公安官ににらまれ」た  
 んなドツチにせよタツ  
 タ四十圓のタバコちやあ  
 りませんか、かんべんし  
 て下さいヨヨヨ」

最古の店史 最新の技術

パンは 平五丁目 342 開花亭

秋冬の注文洋服

良 渡邊洋服店

平市二丁目紅小路

電話 九五七番

本格的中華料理を召上つて下さい!

●定食(一人)二百円 三百円 五百円

●卓子料理(一卓)千円 二千円 三千円

●名物 ラーメン 三〇圓

ワンタン

中華料理 平驛前平華

電話三五八番

燃料の需要期に 御用命は……

薪炭 棒炭 練炭

市原商店

平・紺屋町 電話 二四四番 倉庫四九番

製粉 製めん

自信ある品質

スゲノ澤 永島製麵所

工場平市古鍛冶町33 電話1094番

出張所平市田町58

嗜好和洋食

御入浴の上 風雅なお座敷を 御利用

喫茶 湖月

料亭 湖月

平市仲田町通り 電話二〇三

名刺 堂脇 公會 古市

三馬店 平市三丁目 横山商店 電話九四番

胃腸 外科

外科一般 整形外科 性病科 皮膚科 肛門科 内科 胃腸科 呼吸器科 放射線科

松村 鐵郎

松村 醫院

平市南町 電話一〇七